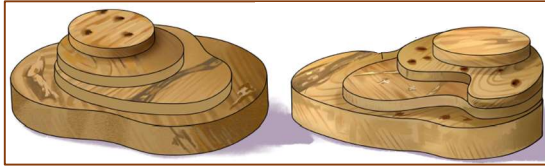


県出展エリアに設置するベンチの作品紹介

(1) 山のイメージ作品

作品名 「きごころ」 県立神奈川工業高等学校 1年 佐々木 由芽



【作者の想い】

木材を地層のように積み重ねることで、長い時間多くの生命と地球そのものを支えてきた木々の歴史を表現しました。座る方向や高さの自由度が高いデザインとし、異なる視点からエリア内の景色を楽しんでももらいたいです。

(2) 街のイメージ作品

作品名 「KAMOME」 県立神奈川工業高等学校 3年 藤門 桃羽

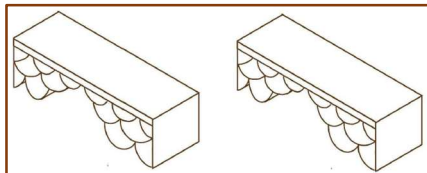


【作者の想い】

「都市と自然の共存」をコンセプトに、県鳥であるカモメを象りました。直線的なデザインで都市を表現し、丸太を支柱として用いることで、林業が都市を支え発展していく様子を、階段形状で表しました。

(3) 海のイメージ作品

作品名 「WAVE」 県立神奈川工業高等学校 2年 鈴木 百合華



【作者の想い】

脚部分は丸太を用い、青海波文様を思わせるデザインにしました。また、食害、病害を受けた木材のうち、使用しても問題ない部分を再利用することで、デザイン性と環境への配慮を兼ね備えたサステナブルなベンチにしました。